



福島県医発第2917号(地)

平成29年 1月24日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

平成28年度厚生労働省「こころの健康づくり対策事業」による
研修の受講者募集について

今般、標記の件につきまして、別添のとおり国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院及び同法人国立精神・神経医療研究センターより、福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室を通じて連絡がありました。

詳細については、別添実施要項等をご参照ください。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

なお、問合せについては、直接、国立国際医療研究センター国府台病院及び国立精神・神経医療研究センターにご連絡いただきますようお願いいたします。

また、福岡県域に所在する精神科病院へは、県庁健康増進課こころの健康づくり推進室より通知がなされておりますことを申し添えます。

小郡三井医師会より

精神保健担当理事 古川哲也
会長 白石恒明

公印省略

28健第4913号
平成29年1月11日

公益社団法人 福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課
こころの健康づくり推進室長
(精神保健班)

平成28年度厚生労働省「こころの健康づくり対策事業」による
「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」等の受講者募集について(送付)

本県の精神福祉行政の推進につきましては、日ごろから格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院より、別添のとおり、「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」、「思春期精神保健対策医療従事者研修応用コース研修」、「ひきこもり対策研修」の開催案内が送付されましたので、お知らせします。

なお、問い合わせについては、直接、国立国際医療研究センター国府台病院にご連絡いただきますようお願いいたします。

また、福岡県域に所在する精神科病院については、当室より通知しております。

福岡県保健医療介護部 健康増進課
こころの健康づくり推進室 精神保健班
担当：卜部(うらべ)
TEL 092-643-3265 FAX 092-643-3271

平成28年 12月 22日

各都道府県・政令指定都市関係各位

国立研究開発法人
国立国際医療研究センター 国府台病院
病院長 上村 直実
(公印省略)

平成28年度厚生労働省『こころの健康づくり対策事業』による

1. 「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」
2. 「思春期精神保健対策医療従事者研修応用コース研修」
3. 「ひきこもり対策研修」
の受講者募集について

この研修は、厚生労働省「平成28年度こころの健康づくり対策事業（思春期精神保健研修事業）」の一環として上記の3コースを企画し、各自治体の担当者、全国の専門家、あるいはそれを志す方たちにご提供することを目指して実施されます。

思春期のこころの健康を支え、同時にこころの問題を抱える子どもの治療と立ち直りの支援に携わる保健・医療分野の人材の開発と、すでにその分野に携わっている専門家の専門性を高めることなしに、各地に必要なして十分な思春期のこころの健康支援システムと児童思春期精神科医療の均てん化を実現することが難しいことは言うまでもありません。

受講料はすべて無料となっております。

受講案内を同封させていただきますが、応募はインターネットからお願いいたします。

下記インターネットホームページ掲載の募集要項をご確認の上、申し込みフォームに入力、応募頂きますよう、ご案内申し上げます。

つきましては、業務ご多忙の折誠に恐縮ではございますが、貴自治体の精神保健福祉センター、保健所、市町村、医療機関等の関係機関にご周知頂きますよう、ご高配のほどよろしくお願いいたします。

国立国際医療研究センター国府台病院HP→児童精神科→研修

<http://www.ncgmkohnodai.go.jp/subject/100/20161212082043.html>

厚生労働省 平成 28 年度 こころの健康づくり対策事業
思春期精神保健対策医療従事者専門研修 実施要項

1. 目的

こどもの心の診療を行う医師の育成を目的としており、講義形式での関連領域に関する臨床知識の提供を目指しています。

2. 参加要件

- ・申込時に職場の上司の推薦を得ることができること。
受講決定通知後に推薦状及び同意書に署名捺印し提出いただきます。ご自身が職場長の場合は推薦状は不要です。
- ・研修修了者名簿（氏名、所属先、所属連絡先）の作成・配布に同意されること。
名簿は厚生労働省へ報告し、各地でご活躍いただけるように各都道府県の関係機関に送付します。

3. 対象者

初期研修医、小児科医、精神科医（コメディカルの希望者に関しては若干受け入れます）

4 日時・場所・定員

平成 29 年 2 月 7 日(火) 9:30-16:55 8 日(水)9:30-16:45

A P 品川 7階 (T/U/V) コンベンションルーム 品川駅徒歩3分

<https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-shinagawa/>

定員 100名

5.受講料

無料

6. 研修内容

プログラム参照

7.申込締め切り 平成 29 年 1 月 31 日(火)まで

基本先着順です。定員になりましたらこれより前に締め切る場合もあります。

8.申し込み方法 申し込みフォーム よりお申し込み下さい。

受講の可否、及び参加詳細に関してはメールにてご連絡いたします。

9.その他

- ・昼食・宿泊については、用意・案内はございません。各自でお願い致します。
- ・2日間欠席なく受講された方には修了証書を授与します。遅刻、欠席、早退などは修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意ください。

思春期精神保健研修事業『思春期精神保健対策医療従事者専門研修』

1コマは60分で、講義50分と質疑応答10分

第1日目 (H29/2/7) AP品川				
	9:30	開会式		
1時限	9:30~9:45	担当官	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部	厚生労働省における 児童精神科医療に関する施策
2時限	9:45~10:45	齊藤 万比古	母子愛育会愛育相談所	子どもの精神療法（子ども の心理発達を含む）
	10:45~10:50	休憩		
3時限	10:50~11:50	齊藤 万比古	母子愛育会愛育相談所	不登校
	11:50~12:50	昼休み		
4時限	12:50~13:50	高橋 雄一	横浜市立大学附属市民総合医療センター	摂食障害
5時限	13:50~14:50	松田 文雄	松田病院	自傷・自殺
	14:50~14:55	休憩		
6時限	14:55~15:55	本田 秀夫	信州大学	自閉スペクトラム症
7時限	15:55~16:55	小平 雅基	愛育クリニック	強迫性障害

思春期精神保健研修事業『思春期精神保健対策医療従事者専門研修』

第2日目 (H29/2/8) AP品川				
1時限	9:30~10:30	新井 卓	神奈川県立こども医療センター	ARMS・統合失調症
2時限	10:30~11:30	岩垂喜貴	国立国際医療研究センター国府台病院	入院治療
	11:30~11:35	休憩		
3時限	11:35~12:35	飯田 順三	奈良県立医科大学	ADHD
	12:35~13:35	昼休み		
4時限	13:35~14:35	辻井 農亜	近畿大学	子どもの薬物療法
5時限	14:35~15:35	亀岡 智美	兵庫県こころのケアセンター	虐待の評価とケア
	15:35~15:45	休憩		
6時限	15:45~16:45	牛島洋景	国立国際医療研究センター国府台病院	気分障害/不安障害

厚生労働省 平成 28 年度 こころの健康づくり対策事業
思春期精神保健対策医療従事者研修応用コース 実施要項

1. 目的

今年度以前の医療従事者研修をすでに受講した者、もしくは修了者と同等の知識、経験を有する専門家に対してケース検討を含んだ専門性の高いプログラムを提供し、臨床力を高めることを目指しています。

2. 参加要件

- ・申込時に職場の上司の推薦を得ることができること。
受講決定通知後に推薦状及び同意書に署名捺印し提出いただきます。ご自身が職場長の場合は推薦状は不要です。
- ・研修修了者名簿（氏名、所属先、所属連絡先）の作成・配布に同意されること。
名簿は厚生労働省へ報告し、各地でご活躍いただけるように各都道府県の関係機関に送付します。

3. 対象者

精神科医、小児科医、コメディカル

- 事例検討会がありますので、守秘義務の遵守が出来る方に限ります
- 応募多数の場合はケース検討での症例提示の可能な方を優先します

4 日時・場所・定員

平成 29 年 2 月 28 日 (火) 10:00-17:15 3 月 1 日 (水) 10:00-15:45

国立国際医療研究センター国府台病院 肝炎・免疫研究センター研修室

<http://www.ncgmkohnodai.go.jp/footer/010/koutsu.html>

定員 30名

5. 受講料

無料

6. 研修内容

プログラム参照

7. 申込締め切り 平成 29 年 2 月 21 日 (火) まで

基本先着順です。定員になりましたらこれより前に締め切る場合もあります。

8. 申し込み方法 申し込みフォーム よりお申し込み下さい。

受講の可否、及び参加詳細に関してはメールにてご連絡いたします。

9. その他

- ・昼食・宿泊については、用意・案内はございません。各自でお願い致します。
- ・2 日間欠席なく受講された方には修了証書を授与します。遅刻、欠席、早退などは修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意ください。

思春期精神保健研修事業『医療従事者研修応用コース』

第1日目（ H29/2/28 ） 国府台病院肝炎・免疫研究センター研修室				
	9:50～10:00	開会式		
1時限	10:00～12:00	笠原麻里	駒木野病院	入院治療の理論と実際+ケース検討
	12:00～13:00	昼休み		
2時限	13:00～15:00	八木淳子	岩手医科大学神経精神科学講座 いわてこどもケアセンター	逆境体験がこどもの発達に及ぼす影響と 回復への支援+ケース検討
	15:00～15:15	休憩		
3時限	15:15～17:15	中村 伸一	中村心理療法研究室	家族療法の理論と実際 +ケース検討

第2日目（ H29/3/1 ） 国府台病院肝炎・免疫研究センター研修室				
1時限	10:00～12:00	牛島 定信	ほづみクリニック	青年期発達論とパーソナリティー障害 +ケース検討
	12:00～13:00	昼休み		
2時限	13:00～15:45	齊藤 万比古	母子愛育会愛育相談所	思春期心性と発達障害という観点から見た 思春期治療+ケース検討(グループ討議 付き)
	15:45～15:55	修了式		

講義はすべての演者が60分間。ケース検討は60分間で講師がファシリテーターの役割を担う。最終プログラムは2時間45分の時間を設定し、講義60分の後、ケース・プレゼンテーション20分、グループ別の討議30分間を経て、残った55分間でグループ討議の結果を踏まえ、講師とケース提供者で議論をまとめる。

厚生労働省 平成 28 年度 こころの健康づくり対策事業

ひきこもり対策研修 実施要項

1. 目的

各地域で「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」に基づいたひきこもり支援に携わる人材の確保とその育成を目的として実施する。

2. 参加要件

- ・申込時に職場の上司の推薦を得ることができること。
受講決定通知後に推薦状及び同意書に署名捺印し提出いただきます。ご自身が職場長の場合は推薦状は不要です。
- ・研修修了者名簿（氏名、所属先、所属連絡先）の作成・配布に同意されること。
名簿は厚生労働省へ報告し、各地でご活躍いただけるように各都道府県の関係機関に送付します。

3. 対象者

精神保健福祉センター、保健所、ひきこもり地域支援センター、医療機関、教育機関等の地域専門機関でひきこもり支援に従事している、もしくは従事する可能性のある医師、看護師、保健師、精神保健福祉士および児童福祉司等の福祉職、児童心理司および相談・医療機関等勤務の心理職、教師等の専門職。

4 日時・場所・定員

平成 29 年 3 月 9 日(木) 9:45-16:50 10 日(金)9:30-16:00

大正大学 5号館 531 教室 〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1
https://www.tais.ac.jp/utility/access_map/

定員 150名

5.受講料

無料

6. 研修内容

プログラム参照

7.申込締め切り 平成 29 年 2 月 23 日(木)まで

基本先着順です。定員になりましたらこれより前に締め切る場合もあります。

8.申し込み方法 申し込みフォーム よりお申し込み下さい。受講の可否、及び参加詳細に関してはメールにてご連絡いたします。

9.その他

- ・昼食・宿泊については、用意・案内はございません。各自でお願い致します。
- ・2 日間欠席なく受講された方には修了証書を授与します。遅刻、欠席、早退などは修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意下さい。

思春期精神保健研修事業『ひきこもり対策研修』

第1日目 (H29/3/9) 大正大学 5号館531教室				
	9:40～9:45	開会式		
1時限	9:45～10:30	担当官	厚生労働省	ひきこもり問題に関する国の施策
2時限	10:30～12:00	齊藤 万比古	母子愛育会愛育相談所	思春期ケースへの精神療法
	12:00～13:00	昼休み		
3時限	13:00～14:30	小林真理子	山梨英和大学	家族への相談・支援
	14:30～14:35	休憩		
4時限	14:35～16:05	山本 彩	札幌学院大学	危機介入の実際
	16:05～16:10	休憩		
5時限	16:10～16:50	質疑・討論 司会：齊藤万比古		

第2日目 (H29/3/10) 大正大学 5号館531教室				
1時限	9:30～11:00	内田太郎	横浜市青少年相談センター	アウトリーチの取り組み
	11:00～11:10	休憩		
2時限	11:10～12:40	小石誠二 芦澤孝太	山梨県立精神保健福祉センター	就労支援の取り組み
	12:40～13:40	昼休み		
3時限	13:40～15:10	近藤直司	大正大学	ひきこもりケースのアセスメント
	15:10～15:20	休憩		
4時限	15:20～16:00	質疑・討論 司会：近藤直司		
	16:00～16:10	閉会式		

公印省略

28健第4907号

平成29年1月11日

公益社団法人 福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課

こころの健康づくり推進室長

(精神保健班)

平成28年度厚生労働省「こころの健康づくり対策事業」による
PTSD対策専門研修の受講者募集について（送付）

本県の精神福祉行政の推進につきましては、日ごろから格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターより、別添のとおり、PTSD対策専門研修（A 通常コース、B 大規模災害対策コース〔一般及び行政医療関係者〕、C 大規模災害対策コース〔精神医療関係者〕）の開催案内が送付されましたので、お知らせします。

なお、申込み及び問い合わせについては、直接、国立精神・神経医療研究センターにご連絡いただきますようお願いいたします。

また、福岡県域に所在する精神科病院については、当室より通知しております。

福岡県保健医療介護部 健康増進課

こころの健康づくり推進室 精神保健班

担当：卜部（うらべ）

TEL 092-643-3265 FAX 092-643-3271

平成 28 年 12 月吉日

都道府県・政令市

ご担当課 御中

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 災害時こころの情報支援センター
センター長 金 吉晴

拝啓

平素は大変お世話になっております。

さて昨年度に引き続き、「平成 28 年度厚生労働省こころの健康づくり対策事業」の補助金による「PTSD対策専門研修」として、以下の研修を実施致しますのでご連絡申し上げます。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、関係方面へのご周知をお願いいたします。

【研修実施日程】

- A. 通常コース……………平成 29 年 2 月 22 日(水)～23 日(木)
- B. 大規模災害対策コース（一般及び行政医療関係者）……………平成 29 年 2 月 14 日(火)
- C. 大規模災害対策コース（精神医療関係者）……………平成 29 年 2 月 2 日(木)～3 日(金)

なお、A、C コースは参加希望者個人による web 申し込みとなっておりますが、B コースについては自治体からのご推薦のみを受け付けております。

恐れ入りますが、貴課において 3 名を上限として希望者を取りまとめ、下記宛てにメールにてお申し込み下さい。メール本文に、優先順位をつけて、希望者の氏名、所属、職名、医療資格名（無くても可）を記載し、担当者のご連絡先をご記入下さい。メール件名は「B コース申し込み」としてください。

（記入例）

B コースに以下の者を推薦します。

- 1. 山田太郎 ○県庁△課 主査
- 2. 佐藤花子 ○県立医療センター 精神科部長 医師
- 3. 鈴木二郎 ○県精神保健福祉センター ☆科 係長 精神保健福祉士

各コースの募集要項を同封しましたので、ご参照下さい。なお募集要項は下記からもダウンロードできます。<http://www.ncnp.go.jp/training/study.html>

敬具

<この研修に関する問い合わせ先>

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 災害時こころの情報支援センター
PTSD研修担当（藪内・後藤）

TEL : 042-346-3528 E-mail : ptsd_seminar@ncnp.go.jp

平成 28 年度 PTSD 対策専門研修

A. 通常コース 募集要項

平成 28 年度厚生労働省「こころの健康づくり対策事業」補助金による PTSD 対策専門研修事業として、国立精神・神経医療研究センターにより、本研修を開催致します。

本研修は、災害被害者、犯罪・事故被害者、災害遺族、被虐待児童等、トラウマに対するこころのケアが必要な方に対応できる人材を確保するために実施されます。精神保健医療従事者等に対しトラウマに対するこころのケアについての必要な知識を系統的に習得し、さらに実際のスキルを向上させるような内容が工夫されています。

この機会を積極的に活用され、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

担当者 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
災害時こころの情報支援センター センター長 金 吉晴

1. 目的

災害被害者、犯罪・事故被害者、災害遺族、被虐待児童等の心理的トラウマに関する理解を深め、PTSD 等の治療の知識を得、基本的対応スキルを習得する。

2. 対象者

主に精神保健医療福祉業務に従事する医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、臨床心理技術者等。実際にトラウマの現場に関わっている方。

3. 研修日時・場所

平成 29 年 2 月 22 日（水）～23 日（木）9 時 30 分～17 時

フクラシア浜松町（〒105-0013 東京都港区浜松町 1-22-5 KDX 浜松町センタービル 6 階）

4. 講義内容

講師：（講義順、敬称略）

金 吉晴（国立精神・神経医療研究センター）

堀 弘明（国立精神・神経医療研究センター）

中島 聡美（福島県立医科大学）

小平かやの（東京都児童相談センター）

時間割：（別紙参照）

5. 定員 125 名

6. 受講料 なし

7. 申込方法

Web 研修受付システムからお申し込みください。当センターの HP から「研修・セミナー一覧」(<http://www.ncnp.go.jp/training/study.html>) へとお進みいただき、「PTSD 対策専門研修 A. 通常コース」の PDF をご覧いただけますと申し込みページへのリンクがございます。

または、右の 2 次元バーコードより、「研修・セミナー一覧」ページへアクセスできます。



- ※ 受講決定通知後 1 週間以内（消印有効）に、職場の上司による職印（ない場合は個人印でも可）を押した推薦状（別紙様式）の送付が必要となります Web 登録の前にご推薦者の氏名、所属をご確認ください。推薦状をご送付いただけない場合、ご参加の登録は無効になります。お申し込み者ご自身が施設長・部門長の場合には、推薦状の送付は不要です。
- ※ 応募の際のメールアドレスには共用アドレスを使用しないようお願いいたします。
また、メールアドレスの入力ミスにより選考結果等の通知が届かないケースが大変多くございますので、お間違いのないようご注意ください。
- ※ 応募フォームに入力後 1 週間経っても返信メールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

8. 受講申込受付期間

平成 29 年 1 月 4 日（水）～平成 29 年 2 月 7 日（火）

（応募者多数の場合は途中で締め切らせていただくことがあります。）

9. 修了証書の授与

所定の研修課程を履修した方には修了証書を授与します。

理由なく欠席あるいは遅刻早退があった場合は、修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意ください。

10. その他

- （1）後日、受講者名簿を作成し、国・都道府県・政令市に提出致します。
- （2）選抜理由についてはいかなる場合でもお答えできません。
- （3）当日は主催者の指示に従って、円滑な運営にご協力ください。ご協力いただけない場合は受講を許可しないことがあります。
 - ・研修内容の録画・記録は一切できません。
 - ・当日高熱や激しい咳、嘔吐などの症状が見られた方には、受講をご遠慮いただくことがあります。
- （4）宿泊施設の紹介は致しませんので、各自でご準備ください。
- （5）研修会場へは公共交通機関をご利用ください。

11. 問い合わせ先

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 災害時こころの情報支援センター PTSD 研修担当（数内・後藤）

住 所：〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1

E-mail: ptsd_seminar@ncnp.go.jp

- ※ お問い合わせはメールをお願いいたします。件名は、「A コース問い合わせ」としてください。

平成28年度 「こころの健康づくり対策」事業

PTSD 対策専門研修

A. 通常コース

於：フクラシア浜松町

<時間割>

日 付	時 間	講 師	テ ー マ
一日目 2月22日 (水)	9:30	<開 講>	
	1 限目 (80 分) (9:40~11:00)	金 吉晴 〔国立精神・神経医療研究センター〕	PTSD の診断と評価
	2 限目 (80 分) (11:10~12:30)	堀 弘明 〔国立精神・神経医療研究センター〕	PTSD の生物学的基盤と薬物療法
	12:30~13:40	<休 憩>	
	3 限目 (80 分) (13:40~15:00)	金 吉晴 〔国立精神・神経医療研究センター〕	災害への心理対応 ～心理的応急処置 (PFA)
	4 限目 (80 分) (15:10~16:30)	中島 聡美 〔福島県立医科大学〕	複雑性悲嘆とその治療・ケア
	16:30~17:00	<質 疑 応 答>	
	17:00	<第一日目終了>	
二日目 2月23日 (木)	1 限目 (80 分) (9:40~11:00)	小平 かやの 〔東京都児童相談センター〕	子どもとトラウマ
	2 限目 (80 分) (11:10~12:30)	小平 かやの 〔東京都児童相談センター〕	子どもとトラウマ
	12:30~13:40	<休 憩>	
	3 限目 (80 分) (13:40~15:00)	金 吉晴 〔国立精神・神経医療研究センター〕	PTSD の心理療法：持続エクスポージャー療法の立場から
	4 限目 (80 分) (15:10~16:30)	金 吉晴 〔国立精神・神経医療研究センター〕	PTSD の心理療法：持続エクスポージャー療法の立場から
	16:30~17:00	<質 疑 応 答、 修 了 証 書 の 授 与>	
	17:00	<閉 講>	

平成 年 月 日

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター 理事長 殿

推 薦 状

【受講者】

職 名 _____

氏 名 _____

上記の者を「平成 28 年度 PTSD 対策専門研修」受講者として推薦いたします。

A. 通常コース

C. 大規模災害対策コース（精神医療関係者）

} ※受講コースに○印

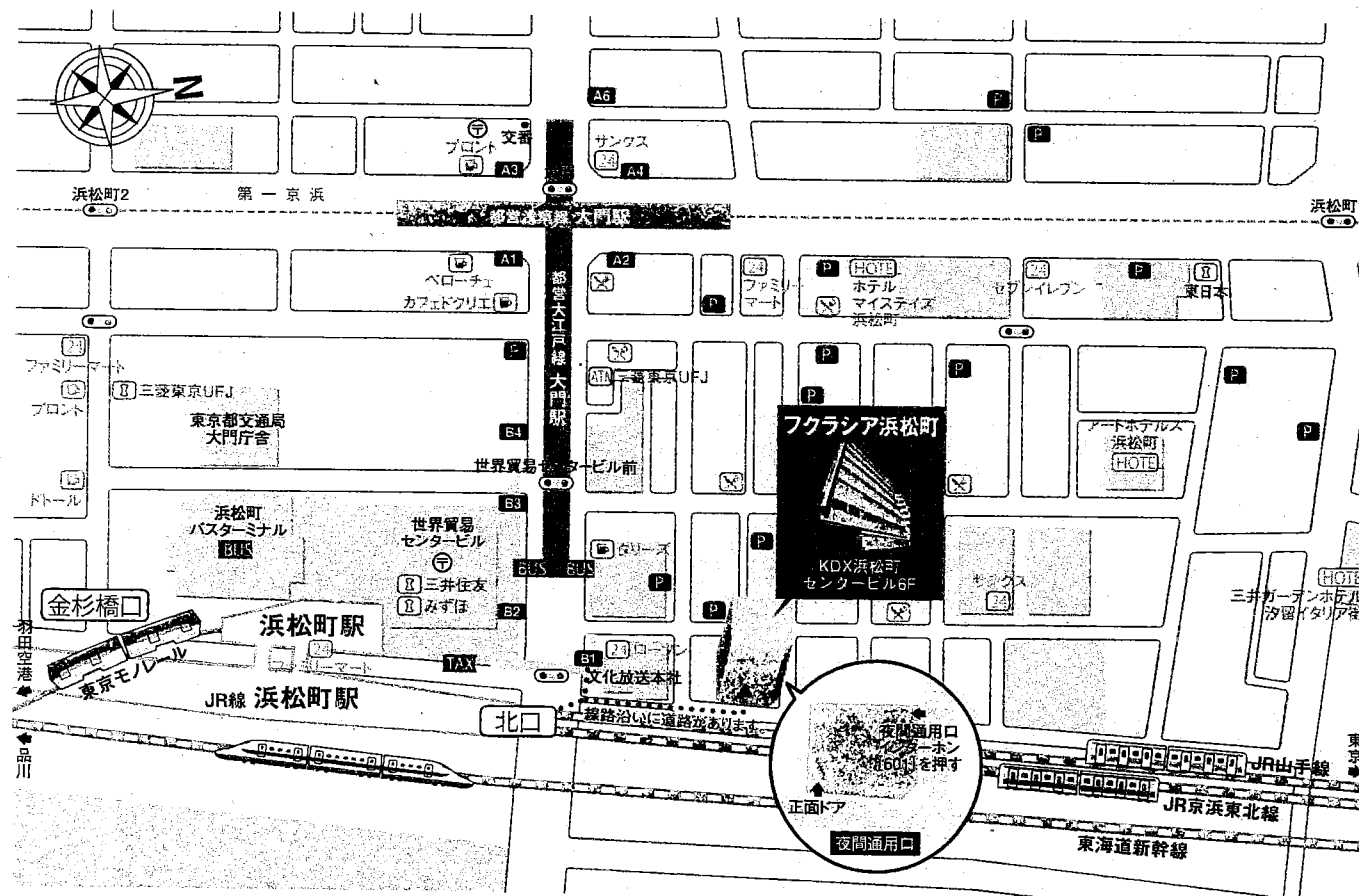
【推薦者】

施設名 _____

職 名 _____

氏 名 _____

印



フクラシア浜松町

東京都港区浜松町1-22-5 KDX浜松町センタービル6F

JR「浜松町」駅から徒歩1分、都営大江戸線「大門」駅から徒歩2分、

東京モノレール「浜松町」駅から徒歩1分

こちらより地図にアクセスしていただけます。→



平成 28 年度 P T S D 対策専門研修
B. 大規模災害対策コース（一般及び行政医療関係者） 募集要項

平成 28 年度厚生労働省「こころの健康づくり対策事業」補助金による PTSD 対策専門研修事業として、国立精神・神経医療研究センターにより、本研修を開催致します。

本研修は、実際の精神保健医療活動に関わる臨床家だけではなく、より広く、行政的な視点から、精神及び一般医療に関わる方々に対して、災害が生じた場合の地域の精神保健医療的なマネジメント、対応について、過去の実際の災害の経験を共有し、中長期的視点を踏まえながら、今後への備えをして頂くために開催されます。

この機会を積極的に活用されて、災害に備えるとともに、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

※なお、当コースは自治体からの推薦者向けとなります。個人による応募は出来ません。

担当者 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
災害時こころの情報支援センター センター長 金 吉晴

1. 目的

災害被災者への精神保健医療支援への理解を深め、行政において、あるいは行政と連携して効果的な対応を行う知識を習得する。

2. 対象者

自然災害、甚大事故、テロ等、大規模災害時に、行政において、あるいは行政と関連して、地域での精神保健医療対応に従事する可能性のある保健医療関係者。精神科の臨床に直接従事していなくても良い。**都道府県・政令市からの推薦者に限る。**

3. 研修日時・場所

平成 29 年 2 月 14 日（火）9 時 30 分～17 時 30 分

国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館 セミナールーム（〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1）

4. 講義内容

講師：（講義順、敬称略）

山口 喜久雄（熊本県精神保健福祉センター）

山田 正夫（神奈川県精神保健福祉センター）

小原 聡子（宮城県精神保健福祉センター）

小泉 典章（長野県精神保健福祉センター）

金 吉晴（国立精神・神経医療研究センター）

時間割：（別紙参照）

5. 定員 65 名

6. 受講料 なし

7. 申込方法

都道府県・政令市担当課からの推薦者のみ受け付けます。都道府県・政令市担当課から参加希望者を当方に送付して頂くことになっていますので、担当課とご相談ください。

8. 受講申込受付期間

平成 29 年 1 月 4 日（水）～平成 29 年 1 月 26 日（木）

（応募者多数の場合は途中で締め切らせていただくことがあります。）

9. 修了証書の授与

所定の研修課程を履修した方には修了証書を授与します。

理由なく欠席あるいは遅刻早退があった場合は、修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意ください。

10. その他

（1）後日、受講者名簿を作成し、国・都道府県・政令市に提出致します。

（2）選抜理由についてはいかなる場合でもお答えできません。

（3）当日は主催者の指示に従って、円滑な運営にご協力ください。ご協力いただけない場合は受講を許可しないことがあります。

・研修内容の録画・記録は一切できません。

・当日高熱や激しい咳、嘔吐などの症状が見られた方には、受講をご遠慮いただくことがあります。

（4）宿泊施設の紹介は致しませんので、各自でご準備ください。

（5）研修会場へは公共交通機関をご利用ください。

11. 問い合わせ先

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 災害時こころの情報支援センター PTSD 研修担当（数内・後藤）

住 所：〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

E-mail: ptsd_seminar@ncnp.go.jp

※ お問い合わせはメールでお願いいたします。

また、メールでの件名は、「B コース問い合わせ」としてください。

平成28年度 「こころの健康づくり対策」事業

PTSD 対策 専門 研修

B.大規模災害対策コース（一般及び行政医療関係者）

於：国立精神・神経医療研究センター 研究所3号館 セミナールーム

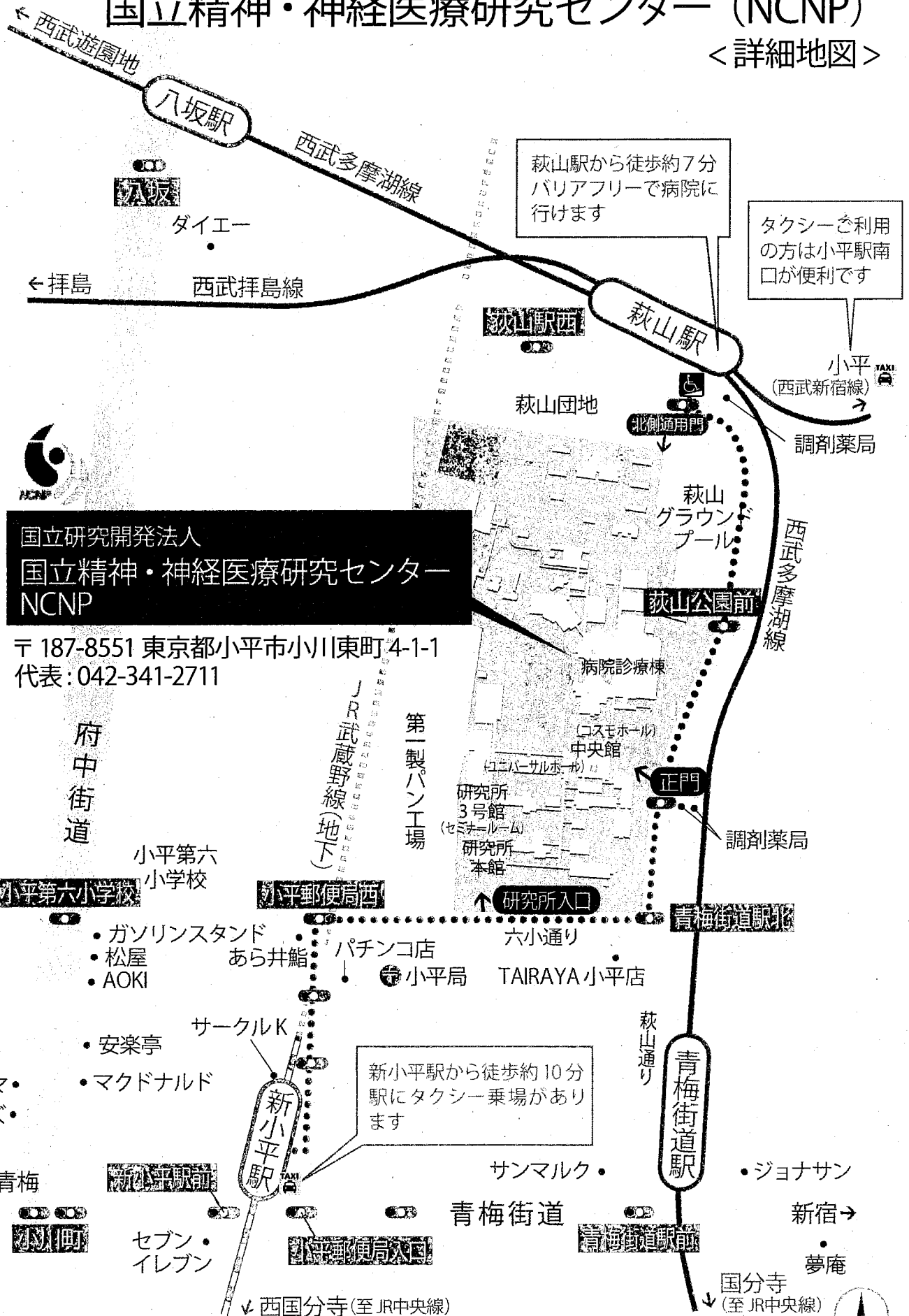
<時間割>

日 付	時 間	講 師	テ ー マ
2月14日 (火)	9:30	<開 講>	
	1 限目 (80 分) (9:40~11:00)	山口 喜久雄 〔熊本県精神保健福祉センター〕	熊本地震の経験から
	2 限目 (60 分) (11:10~12:10)	山田 正夫 〔神奈川県精神保健福祉センター〕	相模原障害者施設事件の 支援について
	12:10~13:20	<休 憩>	
	3 限目 (80 分) (13:20~14:40)	小原 聡子 〔宮城県精神保健福祉センター〕	東日本大震災の経験から
	4 限目 (60 分) (14:50~15:50)	小泉 典章 〔長野県精神保健福祉センター〕	御嶽山噴火災害と 軽井沢スキーバス事故の経験から
	5 限目 (60 分) (16:00~17:00)	金 吉晴 〔国立精神・神経医療研究センター〕	災害時の精神保健医療対応 総論
	17:00~17:30	<質 疑 応 答、 修 了 証 書 の 授 与>	
	17:30	<閉 講>	

国立研究開発法人

国立精神・神経医療研究センター (NCNP)

< 詳細地図 >



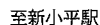
国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
NCNP

〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1
代表: 042-341-2711

国立研究開発法人

国立精神・神経医療研究センター (NCNP)

<センター内地図>



至青梅街道

小平市グラウンド

〈注意〉 駐車場料金精算機がありませんので
事前精算されていない方は出られません

料金区分		30分まで	30分以降
一般の方	昼 間 (7:00～18:30)	無料	200円/1時間 (2時間迄は100円)
	夜 間 (18:30～7:00)	無料	300円/1時間
受診患者の方 *但し、30分以降となった場合は ④会計受付窓口に表示して下さい		無料	100円/当日の退場まで

〈地図上マークの説明〉

- | | | | | | |
|---|----------|---|------------|---|-----|
|  | 屋根付き通路 |  | AED設置場所 |  | 駅ビル |
|  | 外来者専用駐車場 |  | ポスト | | |
|  | 専用駐車場 |  | 公衆電話 | | |
|  | 職員駐車場 |  | レストラン | | |
|  | 駐車料金精算機 |  | コンビニエンスストア | | |
|  | 駐輪場 |  | ATM | | |
|  | タクシー乗場 |  | タリーズコーヒー | | |

- AED設置場所
- ポスト
- 公衆電話
- レストラン
- コンビニエンスストア
- ATM
- タリーズコーヒー

..... 病院にお越しの方
 セミナールーム・ユニバーサルホールにお越しの方（----- 休日ルート）
 コスモホールにお越しの方



平成 28 年度 P T S D 対策専門研修

C. 大規模災害対策コース（精神医療関係者） 募集要項

平成 28 年度厚生労働省「こころの健康づくり対策事業」補助金による PTSD 対策専門研修事業として、国立精神・神経医療研究センターにより、本研修を開催致します。

本研修は、自然災害等の大規模災害時の精神保健医療対応（こころのケア）に対応できる、精神医療保健福祉業務に携わる人材を確保するために実施されます。東日本大震災での経験を踏まえ、被災者のこころのケアに対する専門的な知識を習得し、さらに実際の現場での問題点等についてお伝えしていきます。

また、WHO 等の国際機関が開発した「サイコロジカル・ファーストエイド（心理的応急処理：PFA）」の指針に従って、小グループに分かれ、ロールプレイ、コミュニケーションスキル訓練、シナリオに基づいた討論などを織り交ぜて、実際の対応能力の向上を目指します。PFA は災害だけではなく、犯罪被害、事故などのトラウマ被害者に対しても実施できる、汎用性の高いスキルです。

この機会を積極的に活用されて、災害に備えるとともに、日々の臨床にお役に立てて頂ければ幸いです。関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

担当者 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
災害時こころの情報支援センター センター長 金 吉晴

1. 目的

大規模災害時の地域精神保健医療対応に関する専門知識の習得に関する研修。

及び、災害時の被災者への心理社会的初期対応に関する「サイコロジカル・ファーストエイド（心理的応急処理：PFA）」の講義、ロールプレイ、コミュニケーションスキル、シナリオに基づいた討論などを通じて、対応の基本方針を理解し、基本技能を習得する。

2. 対象者

自然災害、甚大事故、テロ等、大規模災害時に実際に地域でのこころのケアへの対応にあたる可能性のある精神保健医療福祉業務に従事する医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、臨床心理技術者等。

3. 研修日時・場所

平成 29 年 2 月 2 日（木）～2 月 3 日（金） 1 日目 9 時 30 分～17 時・2 日目 9 時 10 分～17 時 30 分

※1 日目と 2 日目の開始・終了時間が異なりますのでご注意ください。

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟（〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1）

4. 講義内容

講師：（講義順、敬称略）

前田 正治（福島県立医科大学）

松本 和紀（東北大学大学院）

加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター）

原田 豊（鳥取県立精神保健福祉センター）

金 吉晴（国立精神・神経医療研究センター）

大沼 麻実（国立精神・神経医療研究センター）

他 P F A 認定指導者 若干名

時間割：（別紙参照）

5. 定員 60 名

6. 受講料 なし

7. 申込方法

Web 研修受付システムからお申し込みください。当センターの HP から「研修・セミナー一覧」(<http://www.ncnp.go.jp/training/study.html>) へとお進みいただき、「PTSD 対策専門研修 C. 大規模災害対策コース(精神医療関係者)」の PDF をご覧いただきますと申し込みページへのリンクがございます。



または、右の 2 次元バーコードより、「研修・セミナー一覧」ページへアクセスできます。

※ 受講決定通知後 1 週間以内(消印有効)に、職場の上司による職印(ない場合は個人印でも可)を押した推薦状(別紙様式)の送付が必要となります。Web 登録の前にご推薦者の氏名、所属をご確認ください。推薦状をご送付いただけない場合、ご参加の登録は無効になります。お申し込み者ご自身が施設長・部門長の場合には、推薦状の送付は不要です。

※ 応募の際のメールアドレスには共用アドレスを使用しないようお願いいたします。

また、メールアドレスの入力ミスにより選考結果等の通知が届かないケースが大変多くございますので、お間違いのないようご注意ください。

※ 応募フォームに入力後 1 週間経っても返信メールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

8. 受講願書受付期間

平成 29 年 1 月 4 日(木)～平成 29 年 1 月 19 日(木)

(応募者多数の場合は途中で締め切らせていただくことがあります。)

9. 修了証書の授与

所定の研修課程を履修した方には修了証書を授与します。

理由なく欠席あるいは遅刻早退があった場合は、修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意ください。

10. その他

(1) 後日、受講者名簿を作成し、国・都道府県・政令市に提出致します。

(2) 選抜理由についてはいかなる場合でもお答えできません。

(3) 当日は主催者の指示に従って、円滑な運営にご協力ください。ご協力いただけない場合は受講を許可しないことがあります。

・研修内容の録画・記録は一切できません。

・当日高熱や激しい咳、嘔吐などの症状が見られた方には、受講をご遠慮いただくことがあります。

(4) 宿泊施設の紹介は致しませんので、各自でご準備ください。

(5) 研修会場へは公共交通機関をご利用ください。

11. 問い合わせ先

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 災害時こころの情報支援センター PTSD 研修担当(数内・後藤)

住 所: 〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1

E-mail: ptsd_seminar@ncnp.go.jp

※ お問い合わせはメールでお願いいたします。

また、メールでの件名は、「C コース問い合わせ」としてください。

平成28年度 「こころの健康づくり対策」事業

PTSD 対策 専門 研修

C.大規模災害対策コース（精神医療関係者）

於：国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟

<時間割>

日 付	時 間	講 師	テ ー マ
一日目 2月2日 (木)	9:30	<開 講>	
	1 限目 (80 分) (9:40~11:00)	前田 正治 〔福島県立医科大学〕	原子力災害への対応
	2 限目 (80 分) (11:10~12:30)	松本 和紀 〔東北大学大学院〕	災害時の急性期対応 ～被災地の立場から
	12:30~13:40	<休 憩>	
	3 限目 (80 分) (13:40~15:00)	加藤 寛 〔兵庫県こころのケアセンター〕	災害からの中長期的支援
	4 限目 (80 分) (15:10~16:30)	原田 豊 〔鳥取県立精神保健福祉センター〕	鳥取県中部地震の経験から
	16:30~17:00	<質 疑 応 答>	
	17:00	<第一日目終了>	
二日目 2月3日 (金)	1 限目 (30 分) (9:10~9:40)	金 吉晴 〔国立精神・神経医療研究センター〕	災害時の精神保健医療対応 総論
	2 限目 (130 分) (9:50~12:00)	金 吉晴・大沼 麻実 他 〔国立精神・神経医療研究センター〕	災害時の PFA (心理的応急処理： サイコロジカル・ファーストエイド)
	12:00~13:10	<休 憩>	
	3 限目 (230 分) (13:10~17:00)	金 吉晴・大沼 麻実 他 〔国立精神・神経医療研究センター〕	災害時の PFA (心理的応急処理：サイコロジカル・ ファーストエイド、質疑応答含む)
	17:00~17:30	<修 了 証 書 の 授 与>	
	17:30	<閉 講>	

平成 年 月 日

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター 理事長 殿

推 薦 状

【受講者】

職 名 _____

氏 名 _____

上記の者を「平成 28 年度 PTSD 対策専門研修」受講者として推薦いたします。

A. 通常コース

C. 大規模災害対策コース（精神医療関係者）

} ※受講コースに○印

【推薦者】

施設名 _____

職 名 _____

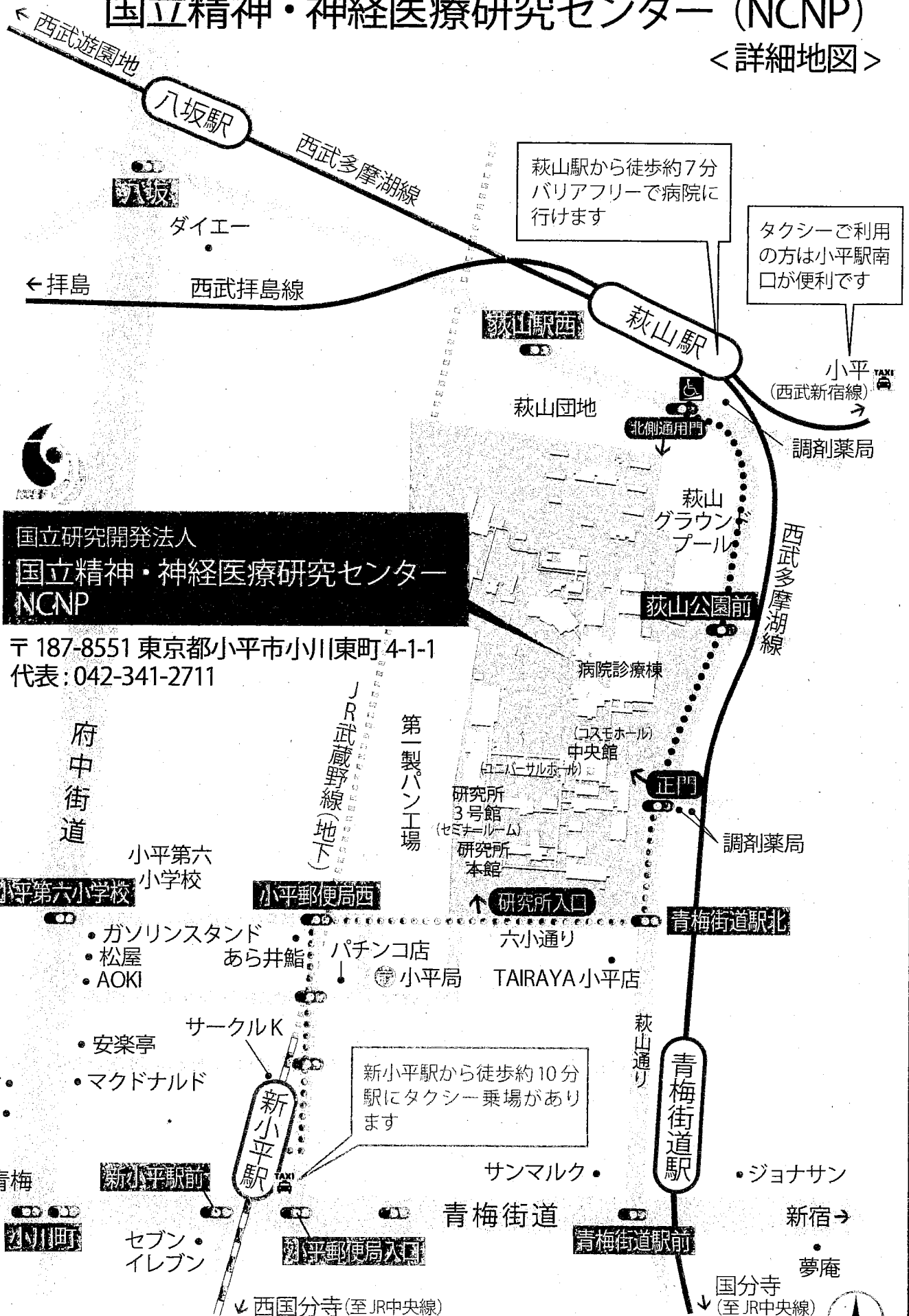
氏 名 _____

印

国立研究開発法人

国立精神・神経医療研究センター (NCNP)

<詳細地図>



教育研修棟への案内図

